

お知らせ

54 年目を迎える「宣伝会議賞」 ロゴマークを刷新 東京 2020 大会エンブレム・野老朝雄氏が制作 日本最大規模の公募広告賞の「頂点」を表現

株式会社宣伝会議（本社：東京都港区 代表取締役：東 英弥）は、日本最大規模の公募広告賞である「宣伝会議賞」の公式ロゴマークを、このたび刷新しました。デザイン・制作は、東京 2020 大会エンブレムの制作者である、デザイナー／アーティストの野老朝雄氏が手がけました。

「宣伝会議賞」は日本最大規模の広告賞

1962 年にスタートし、今年で 54 回目を迎える日本最大規模の広告賞。サントリー、キヤノンマーケティングジャパン、トヨタマーケティングジャパン（昨年実績）など、日本を代表する企業の実在する商品・サービスを課題として、キャッチフレーズやテレビ・ラジオ CM 企画のアイデアを募集する“誰でも参加できる”公募型コンテストです。グランプリは賞金 100 万円。これまで糸井重里氏や林真理子氏といった著名な書き手に加え、広告界を牽引する一流クリエイターを多数輩出。長年にわたり“コピーライターの登竜門”として知られています。

新ロゴマーク制定の背景

本賞は来る 2017 年には第 55 回という節目を迎えます。これにあたり、広告界に根差したアワードとして歩みを進めてきた「宣伝会議賞」は、新たなステージに向けて進んでまいります。そこで、本賞を象徴する公式ロゴマークを新たに策定する運びとなりました。新たな公式ロゴマークは、東京 2020 大会エンブレムを手がけた野老朝雄氏にデザイン・制作いただきました。



制作者・野老朝雄氏コメント

新ロゴマークを制作するにあたり、「頂点」を表現することを念頭に置きました。宣伝会議賞は、何十万と集まって来る言葉のトップを決める、凄まじいアワード。多くの人がめざす、その頂点を表現したいと考え、ピラミッドを上から見た様子をイメージしました。さらに、平面で見たときには、「一つの言葉が、波紋のように周囲へと強く・広く影響を及ぼしていく」様子にも見えるようにと考えました。シンプルな佇まいを追求することで、単体でも、複数組み合わせでパターン化しても、力があるデザインをめざしました。

野老朝雄（ところ・あさお）氏／アーティスト。1969 年東京生まれ。1992 年東京造形大学卒業。建築を学び、江頭慎氏に師事。2001 年 9 月 11 日より独学にて紋様の制作を始める。作家活動のほか、ファッションブランドや建築物のファザードパターンなどを手がける。最近の主な仕事に、BAO BAO ISSEY MIYAKE に“TOKOLO PATTERN”のアートワークを提供、三菱地所設計「大名古屋ビルヂング」下層部ファサードガラスパターンなど。



野老朝雄氏インタビュー（「宣伝会議」2016年10月号より抜粋）

——宣伝会議賞のロゴ制作を引き受けた理由を聞かせてください。

私は建築出身ということもあり、広告界のことをあまり知りません。宣伝会議賞も、今回お話をいただいて知りました。今年で54回を迎えるとのことで、「そんなに続いているのか」と驚きましたね。宣伝会議賞は、半世紀以上続いてきたコンペティションで、もはや100回目が視野に入る段階にまで来ている。脈々と続いてきた、また今後も続いていく歴史ある賞に、こういう形で関われるのは嬉しい。光栄に思い、取り組みました。

——ロゴに込めた思いを聞かせてください。

まず「宣伝会議」という企業名・雑誌名、「宣伝会議賞」というアワード名に強いインスピレーションを受けました。今は当たり前のように受け入れられていますが、かつては「それが雑誌の名前？」と驚かれた時代もあったと思うんです。そんなインパクトのある名前を現代に至るまで大切に維持してきたことへの敬意もあり、この漢字をロゴとして扱ってみたいと考えました。

私は文字や言葉に強い憧れを持っています。文字をデザインの視点で解釈し、そこに込められた思いやメッセージを立体／平面で図形化することで、自分もその世界に少しでも関わっていたいという思いがあります。宣伝会議賞は、今後も歴史を積み重ねていく中で、いつしか日本語だけでなく外国語の作品も集まってくる賞になるときがくるかもしれない。そのとき、同賞がもともと「日本語を極める賞」だったというルーツ、アイデンティティを表現できればいいなとも思っています。

■宣伝会議賞の応募開始は9月1日（木）、締切は11月11日（金）



The screenshot shows the official website for the Sendenkaigi Award. The header includes the logo and navigation links for various categories and user actions. The main banner features the text 'あなたのコピーを募集します。' (We are recruiting your copy) and '中高生部門の応募を開始しました。' (We have started recruiting for the high school and university student category). It also displays the application period: '中高生部門 8/17・10/3' and '一般部門 9/1・11/11'. Below the banner, there are two main steps: 'Step 1 応募登録' (Application Registration) and 'Step 2 作品を応募' (Submit your work). Step 1 instructions mention needing a Sendenkaigi ID and logging in. Step 2 instructions mention submitting work after logging in. Buttons for '応募登録をする' and '課題一覧ページを見る' are provided.

「第54回宣伝会議賞」公式サイトはこちら：<https://award.sendenkaigi.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社宣伝会議「第54回宣伝会議賞」事務局 広報担当：赤井・水田

電話：03-3475-3010 メール：skat@sendenkaigi.co.jp